

学びのひろば

学力向上委員会

算数力を上げるポイントを紹介します。生活の中で「数の分解と合成」「補数」が得意になる方法をお知らせします。

1. 物を数える経験を増やす。

積み木や手の指、百玉そろばんを数える経験が、即、「数の合成と分解」「補数」習熟に役立ちます。

2. 百玉そろばんを使う。

百玉そろばんの大人が手でいくつか珠を隠し、隠した数を当てさせます。おはじきを使っても良いかもしれません。

3. お風呂算数。

親が手の指を8本水面上に出して「沈んでいる数は、何本かな。」と尋ねてみます。合わせて10になるような数の組み合わせを考えさせます。8本隠したら、「2本」と答えてもらいます。7本隠したら、「3本」というように答えてもらいます。

4. 「9までトランプ」で「10作り神経衰弱」

「9までトランプ」とは、1から9までのカードが2枚ずつあるトランプを使って、「10作り神経衰弱」をします。カードを2枚めくって合わせて10になったら、勝ちというゲームです。

5. 「9までトランプ」で「10作りばば抜き」

「10作りばば抜き」とは、合わせて10になるカードがそろったら、出せるゲームです。

1と9、2と8、3と7、4と6、5と5というように10になる組み合わせができれば、カードを出せてカードがなくなったら、勝ちです。

6. 親子で楽しむ「3人補数ゲーム」

大人が1人出題者になって、「7」と言ったら、子ども達2人が「3」と答えます。10になる組み合わせの数を相手より先に答えた方が勝ちというゲームです。

親野智可等 頭がよくなる「算数力」教室より

1と9、2と8、3と7という10の塊をつくる練習を子どもとともに楽しんで取り組めると、自然に数と計算に強くなると思います。